



No.294

学生時代にフェンシングで世界選手権に出場し、教員としても生徒たちにフェンシングの指導にあたった田熊さん。退職後に会った『点訳』への思いを語っていただきました。

点訳に出会って

石の口自治会 田熊 れい子



点訳を通じて視覚障害者のみなさんを支援していきたいです。

高校入学と同時に出会った、フェンシングという繊細な剣さばきの競技に引き込まれ、高校・大学と続けるうちに、オリンピックに出たいという願望を持つようになりしました。

当時の日本は男性上位で、女性はまだなかなか世界に派遣されるのが難しく、選考会で選ばれたものの、「女子の派遣は見送ります。」の一言で、二度のオリンピック出場をふいにしました。そこで、女性陣が立ち上がり、協会に対し「出場費用を全額自己負担にするので、世界選手権に出場させてほしい。」と働きかけ、何とか出場機会を得ることができ、成績も協会が期待していた以上のものを残しました。それ以降、女子が世界大会へ出場する機会が次第に増えていったことから、自分たちの働きかけは、日本の女子フェンシング界に一定の貢献を果たしたと考えています。

しかし、学生時代の世界大会出場のための練習や合宿、教員になってからの生徒への指導など、長年足腰に負担をかけてきた

ため、退職するころには、右股関節に人工骨を入れなければならなくなり、結果的に大好きな運動ができない状態になってしまいました。退職したらフェンシング以外のスポーツにたくさんチャレンジしようと思っていただけに、つらい現実には涙したものです。

そのような時に出会ったのが、『点訳』という、視覚障害者が情報源としていらっしやる点字に文字を打ち直すことでした。三十数年前、その当時勤務していた柳井学園高校に、視覚障害者の中村実枝さんが講演に来られ、彼女が指先を滑らすようにして、ものすごい速さで点字を読みながら話されていたことを思い出しました。点字の本があれば、健常者と変わることなく文字が読めるのです。目の不自由な人を、点訳を通じて支援させていたのだきたいという志を持つようになり、わたしに何かできることはないかと『ほおずきの会』に入会したのです。

入会当初は、アイウエオはもちろん、読みやすくなるため文章を切る『分かち』など、知らないこと

ばかりで、点字の基礎・基本の習得に励む毎日でした。今では、日本点字図書館から依頼される新刊本や、目の不自由な人から依頼を受ける小説や取扱説明書の点訳、広報などの点訳を行っています。さらに、小・中学校で実施される『総合的な学習の時間』において、点字に触れる授業のサポートも行っています。

股関節を痛めたことで、大好きなスポーツはできなくなりましたが、その代わりに『点訳』という生きがいを見つけることができました。これからも、少しでも視覚障害者のみなさんのご要望にお応えできるよう、研鑽を積んでいきたいと考えています。



右上ロゴ…生涯学習のマスコット「マナビイ」

デザイン…右ノ森章太郎

地域の力を学校に!

笑顔の地域力…
寺子屋が起こす化学反応

西の寺子屋代表
三輪 道代

☎ 社会教育課
☎ 52-5813



6月14日、活動5年目を迎えた『西の寺子屋』の開講式が、36人の元気な子どもたちを迎えて行われました。

その後の講座『やさいをそだてよう!』は、今年度の新たな取り組みで、畑作りから栽培・収穫・調理と年間を通して展開します。

まず最初の活動は、西小の敷地の一角をお借りした、新たな畑の開墾から苗植え前までの畑作りです。6区画に分けた敷地に、児童と見守り隊・世話人の大人が、頭を寄せ合ってワイワイガヤガヤとにぎやかに整地する光景は、西の寺子屋の目指すところの『ともに学ぶ場』そのものです。次回の苗の植え付け準備に向けてみんなで協力し元肥を入れ、マルチングをした植え床に、それぞれの立札を立てる姿は、まるで新天地を開墾したような誇らしさに輝いています。



した。作業当初は我先の子どもたちも、終了間際、地域講師に農作業用具の種類や使い方・意味などを丁寧に説明していただくころには、真剣な眼差しを向け疑問を投げかけていました。

今年も、人が財産の寺子屋は子どもたちとともに多くの地域の人々に支えられ、少しずつではありますが、進化してゆきます!そして『子ども』と『大人』、『地域』と『学校』が交流して生み出す化学反応によって、学校を中心とした『笑顔の地域力』がさらにアップするお手伝いになれば、それがさらに『西の寺子屋』の栄養源になります!

No.186

サークルスケッチ

田布施野球 スポーツ少年団

- 代表者 河本 猛
- 日時 毎週土・日曜日
午後1時～午後5時
(第3日曜日を除く)
- 練習場所 スポーツセンター
- 問合せ先 ☎ 52-7676



みなさん、こんにちは。田布施野球スポーツ少年団です。現在総勢25人で、土日を中心に、元気よく泥だらけになって練習に励んでいます。

少年スポーツの目的はさまざまですが、田布施野球では、試合で結果を出すこと、勝利することを目指して活動しています。もちろん勝つことがすべてではありません。しかし、どのような状況でも、あきらめず勝利を目指しています。難しいことでも反復練習を粘り強く行い、チャレンジする気持ちを持たせる指導を行っています。目的を明確にし、努力する子どもたちには、みんなで協力する大

切ぎ、つらいときでも頑張る気持ち、仲間を思いやる優しさ、まわりの人々に感謝する心をしっかりと学んでほしいと考えています。試合に勝つことはなかなか難しいですが、子どもたちは今日も必死に努力し成長しています。(親子で必死に頑張ったあとの夕食は格別ですよ。) そんな田布施野球スポーツ少年団では、いつでも入団をお待ちしています。外で遊び回る環境も少なくなった今、得手不得手関係なく野球を通じて体を動かす楽しさを感じ、仲間と一緒に努力する素晴らしさを体験してみませんか。